

「Well-being（幸せ）を保障する教育」の実現を目指して

学びの道しるべ

～「令和7年度全国学力・学習状況調査」の結果より～

「令和7年度全国学力・学習状況調査」（令和7年4月17日実施）のさいたま市の結果について、お知らせします。

御家庭等において、子どもたちの日々の生活や学習の状況を振り返り、よりよい生活や学習の習慣について話し合う際に、本リーフレットをお役立てください。

児童生徒・保護者向けリーフレット（小学校版）



全国の
調査結果

[国立教育政策研究所ホームページ](#)



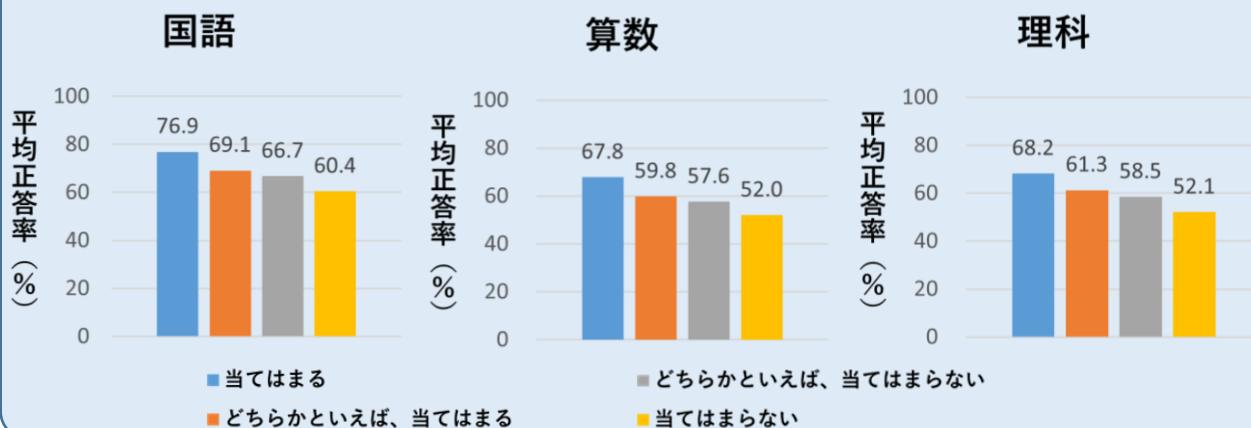
さいたま市
の調査結果

[さいたま市立教育研究所ホームページ](#)

「令和7年度全国学力・学習状況調査」児童質問調査 さいたま市の結果より

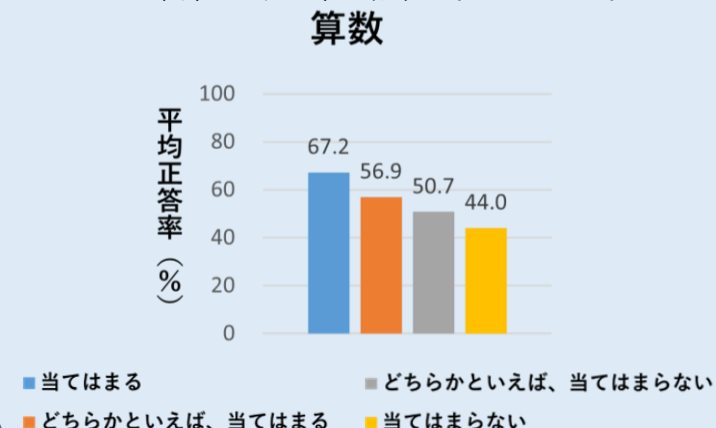
〔読書が好き〕×正答率

児童質問調査「読書が好きですか」の回答状況と、各教科の正答率とのクロス集計では、以下の結果が示されました。



〔学習内容を生活の中で活用〕×正答率

児童質問調査「算数の授業で学習したことを、普段の生活の中で活用できていますか」の回答状況と、算数の正答率とのクロス集計では、以下の結果が示されました。



読書が好きな児童ほど、正答率が高い傾向がみられる！

学校や家庭で、さまざまな分野の本を読む習慣を身に付けよう！



授業で学習したことを普段の生活の中で活用できる児童ほど、正答率が高い傾向がみられる！

「算数の学習を普段の生活の中で活用する」とはどのようなことかな？
問題を解きながら考えてみよう！



【類題の正答】 正しくない

【わけ（例）】 米の生産額は、農業生産額×米の生産額の割合で求められるから、米の生産額を比べるためには、米の生産額の割合だけでなく、農業生産額も考えなければいけない。また、米の生産額を求めると、12億円から20億円に増えている。だから、ひろしさんの言っていることは、正しくない。

裏面へ

「令和7年度全国学力・学習状況調査」の出題より

【出典】『令和7年度 全国学力・学習状況調査 報告書 小学校算数』
<https://www.nier.go.jp/25chousakekkahoukoku/report/data/25pmath.pdf>



例題 令和7年度調査問題 小学校算数 大問1より抜粋

(2) あいりさんは、自分たちが住んでいる都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかを調べています。調べていると、2013年と2023年について、右のグラフ2とグラフ3を見つめました。



グラフ2とグラフ3を見つけたけれど、どちらか1つのグラフを見れば、都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、増えたかどうかわかります。

2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量が、2013年より増えたかどうかを、下のアとイから選んで、その記号を書きましょう。

また、その記号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。そのとき、どちらのグラフのどこに着目したのかわかるようにしましょう。

ア 2023年は2013年より増えた。

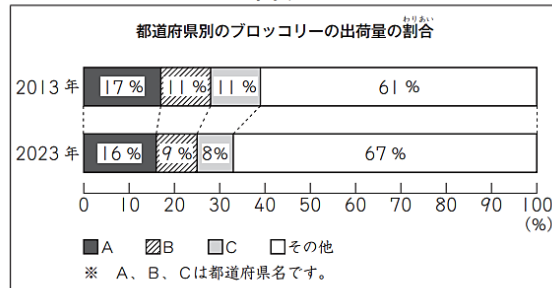
イ 2023年は2013年より減った。

【ヌウからのアドバイス】

棒グラフは数量、帯グラフは割合を調べるのに適しているよ。
 目的に応じてグラフを選べるようにしたいね。

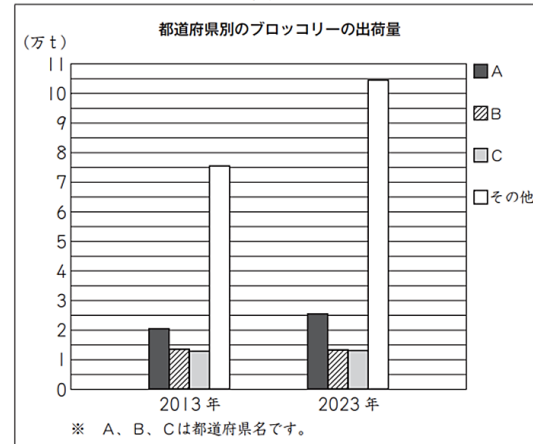


グラフ2



(作物統計調査による。)

グラフ3



(作物統計調査による。)

【例題の正答】ア

※「わけ(例)」は、ヌウの「解説」のとおり



グラフ3を見ると、2013年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量は約2万t、2023年の都道府県Aのブロッコリーの出荷量は約2.5万tで2023年の方が多です。
 だから、都道府県Aのブロッコリーの出荷量は増えています。

類題 平成20年度調査問題 小学校算数B 大問2より抜粋

(3) 次は、米について考えます。

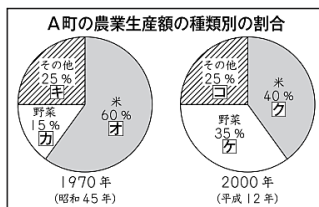
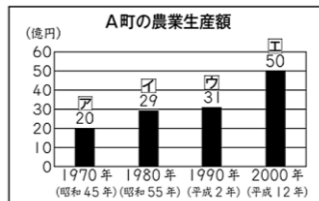
A町の1970年と2000年の米の生産額について、ひろしさんは、次のように言いました。

米の割合が、60%から40%に減っているから、
 米の生産額は、減っています。



ひろし

ひろしさんの言っていることは、正しいですか。「正しい」か「正しくない」かのどちらかを○で囲みましょう。また、そのわけを、言葉や式を使って書きましょう。



上の例題をクリアしたら、左の類題にも挑戦してみよう！
 答えの例は、表面をチェック！！



日常生活の中で自分の興味・関心のあることについてデータを集め、読み取ってみよう！

